

# 「人の自尊心の三大欲求」に 注意しての指導・育成

チームには様々な性格の方がいます。チームリーダーは特に「人の自尊心の三大欲求」に注意をして部下の育成を図ってほしい。

「人の自尊心の三大欲求」とは心理学者ウィル・シュッツ博士が提唱した言葉で、次の3つです。

1. 人には好かれたいという自己好感があります。
2. 大事な存在として認めてほしい自己重要感があります。
3. 人には的確な意思決定と行動が出来るようになりたい自己有能感があります。

この3つの感情は誰もが持っているといわれています。子供でも大人でも、認知証になられた方でも、それは持っているといわれています。

チーム内でチームの目標に向かって、又、その人を育てていくために様々な指導や対話、声掛けが行われますが、部下個々の性格を知らないで対応を間違えると上手くマネジメントが進まなくなります。そこで先の自尊心です。

相手の自尊心を満たしてあげられれば、その人の心は動かします。自尊心を満たす為の理想的なほめ言葉は自然に出てくるようなものでなくてなりません。「ありがとう」「すごいね」「素晴らしい」「いい感じだね」「成長したね」「好感が持てるね」等々あります。例えば「丁寧な挨拶してましたね。いい感じだね」とか「この企画書分かりやすくいいよ、ありがとう」「調べものお願いしたけど、正確で仕事早いね」「この提案いい方向へ向かうと思うよ、成長したね」というように褒められると人は自尊心が満たされます。それだけでなく、もっと好感を持たれたいと願うようになります。

更に「次はもっと考えてみよう」「もっと頑張ってみよう」「もう一工夫してみよう」等と、思考がどんどんプラスの方向に進んでいきます。

チームリーダーは、まずは一人一人ときちんと対話をし、その人の個性をできるだけ掴みます。そしてそのことに配慮し、その人に合った声のかけ方・アドバイス、指導をしていくと、部下の協調性や考える力、チャレンジ力がついて、職場の雰囲気は劇的に変わっていきます。是非実行してみてください。

長嶺 堅二郎

